

とうきょう すくわくプログラム活動報告書

施設名	明日葉保育園池袋園
施設所在地	豊島区池袋3-58-15
法人名	(株)あしたばマインド

1. 活動のテーマ

<テーマ>

自然

<テーマの設定理由>

大都会の保育園でありながら、広い園庭に恵まれていることに改めて感謝し、運動場や固定遊具での遊び場としてだけではなく、園庭を「持続可能な社会や環境と生物多様性を学ぶ場として」子どもの探索活動に役立てていきたいと考え、テーマを設定しました。

- ・ 自然との一体感やつながりをを感じる事が出来る
- ・ 五感を使って探求する
- ・ 自然との関係を築き、感謝の思いを持つ

日々の保育の中で、このような経験を楽しみながら経験することで、自分たちも「自然」の一部であり、大切に考えていかなければならないということに気付いて欲しいと思います。

2. 活動スケジュール

- ・ だるまこ遊び、砂場あそび、水遊び場、芝生地、雑草地、自由花壇、開けたスペース、休憩場所、の設置検討
- ・ 子どもたちと一緒に、花壇づくり、種まき、等

3. 活動のために準備した素材や道具、環境の設定

- ・ 砂場、花壇の環境整備
- ・ 子ども用のシャベル、等、道具の選定と発注
- ・ 自然図鑑の購入、子どもたちと何を植えるかを相談
- ・ 花苗等の購入

4. 探究活動の実践

<活動の内容>

広い園庭があるため、園庭を小さな自然の集まりとして、砂場の虫探し、花壇づくりや、秋にはどんぐりや落ち葉をひろって遊び、子どもたちと保育者がともに、
季節や命、自然への感謝の大切さ、楽しさを感じた。

<活動中の子供の姿・声、子供同士や保育者との関わり>

・5歳児クラスを中心に、園庭の花壇に何を植えたいかを相談。子どもたちは「桜がいい」「いや、桜は毛虫が来るんだって」、「ダンゴムシがいっぱい育つようにしたい」等、楽しそうに話合いが進んでいた。砂場から始めたどろんこ遊びを園庭までつなげて、「温泉ほってるんだよ～」と保育者を誘ったり、友だち同士で会話を楽しみながら継続的に遊ぶ姿がみられている。自由花壇に穴を掘り、虫を探し出して大切そうにケースに入れて観察することも増えた。保護者のお迎えの際にはうれしそうに報告する姿もみられている。幼児クラスの子どもたちが植えたプランターの花々をみて、「きれいだねー」「あかいおはなだねー」等、保育者と一緒に楽しむ姿がみられている。自由花壇では、土そのものの感触を感じたり、砂場の砂との色や感触の違いを興味深く観察している姿がみられた。虫を見つけてうれしそうに保育者に報告したり、落ち葉遊びなど、季節独自の小さな自然を楽しんでいる。



5. ふりかえり

園庭という身近な環境を活用し、子どもたちが主体的に自然と関わる姿が多く見られた。特に5歳児クラスを中心とした花壇づくりの話し合いでは、「桜」「毛虫」「ダンゴムシ」など具体的な経験や知識をもとに意見を出し合う姿があり、子ども同士の対話を通して考えを深めていく様子が見られた。

また、砂場から園庭へと遊びが広がり、「温泉づくり」などの見立て遊びや協同的な関わりが継続していた。虫探しや土に触れる活動では、発見や驚きを保育者や保護者に伝えようとする姿が見られ、自然体験が子どもたちの喜びや表現意欲につながっていることが感じられた。

一方で、虫への関わり方や命の扱いについては個々の理解に差があり、今後は「観察する」「元の場所に返す」など、命を大切にする関わりを丁寧に伝えていく必要があると感じた。

今後は、季節の変化をより意識できるような環境構成（植栽の工夫や継続的な観察の機会づくり）を行い、子どもたちの気づきや興味をさらに深めていきたい。また、保護者とも自然体験の様子を共有し、家庭と連携しながら子どもの育ちを支えていくことを大切にしたい。